

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.207)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検を実施

当施設では、6月7日(月)から6月26日(土)まで、20日間をかけて春期定期点検を行いました。

●災害防止協議会の開催

定期点検に先立ち、6月1日(火)に「災害防止協議会」を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下での開催となりました。

点検工事会社と協議を行った結果、今まで通りの工事業者が一堂に会する開催では、感染リスクを回避することは難しいことから、安全を優先して最小限の関係者が参加することとしました。

参加できなかった工事業者へは新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する内容の注意事項や、定期点検でのルール等の書類を送付し、後日、内容を確認して理解したとの回答書を求め、点検前の周知徹底を図りました。



●定期点検中の安全パトロールの実施

定期点検期間中は、施設内の安全を確認するための安全パトロールを週1回実施しました。

この期間は、普段の作業では来所しない多くの外部作業員が点検や工事を行います。JESCO、運転会社、点検工事会社の3者でパトロールを行い、災害防止協議会で説明したルールが守られているか、労働災害が発生しないように適切な作業が行われているかを確認しました。

この際にもパトロールを行う人数を限定して、3密にならないように細心の注意を払いました。

また、安全に心がけた作業や整理整頓での良い事例は、他の作業場所でも取り入れられるように共有してより良い作業ができるようにしました。



●実施作業の一例

◆PSA用コンプレッサの電動機軸受け交換
施設内での火災・爆発防止のため、危険物に対して、窒素を充填・噴入するなどの安全対策を行っています。このPSAは圧縮空気を使用して窒素を作るため、PSA用コンプレッサは重要な装置です。
コンプレッサ電動機ベアリングは、一定時間以上使用すると、トラブルの恐れがあるため、定期的に交換整備しています。



◆ステンレス床の定期検査

施設外へのPCB漏洩防止のため、設備にセーフティネットとして、ステンレス製の天井、壁と床(遮蔽フード)を設置しています。ステンレス床と壁の繋ぎ目は、コーキングにより密閉性を確保しています。

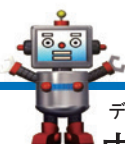
ステンレス床は、遮蔽フードに入り、密閉機能が保たれているか確認を行います。定期点検として年4回行っています。作業方法は、対象箇所をプラスチックカバーで覆い、負圧にして気密性を確認します。

◆冷却塔の点検

冷却塔は、熱を発生するコンプレッサ等の用役設備や各動力機器へ、熱交換用水を供給する機器で、設備運転に欠かせない設備です。

当施設には5つの冷却塔が設置されています。

冷却塔内部には、水を冷やすために充填材を設置していますが、使用に伴い汚れが付着します。効率よく水を冷やすため、内部の充填材を定期的に清掃しています。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

